

2025年12月22日  
株式会社クラッソーネ  
株式会社クラッソーネコンストラクション

## 工事情報管理システムに対する外部アクセス可能状態に関するお詫びとお知らせ

この度、株式会社クラッソーネコンストラクションの工事情報管理システム（システムの開発・保守に関しては、株式会社クラッソーネに委託。以下「本件システム」といいます。）について、システム切替作業に伴うユーザー認証機能の設定不備により、一定期間、一部の個人情報が外部の第三者から閲覧およびアクセス可能な状態となっていたことが判明いたしました。

事態発覚後、直ちに該当ページの非公開化対応を行い、外部からの閲覧およびアクセスはできない状態としております。

関係の皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。当社は、再発防止策を策定し、社内に徹底を図り、改めて情報セキュリティ体制の強化に取り組んでまいります。

### 1. 発生事案と経緯等について

#### (1) 事案概要

本件システムにおいて、ユーザー認証機能の設定不備によって、Web上より一部の内部ページが第三者から閲覧およびアクセスが可能な状態にありました。

#### (2) 経緯と暫定対応

2025年10月27日にお客様から、Web上に当該お客様の個人情報へ閲覧およびアクセスできる状態にある旨のお問い合わせをいただきました。

同日、情報セキュリティの問題として認識をして、事象の調査を開始した結果、10月12日以降、閲覧およびアクセス可能な状態になっていたことが発覚いたしました。

発覚後、直ちに該当ページの非公開化対応を行い、外部からの閲覧およびアクセスはできない状態にいたしました。

なお、本公司は、影響範囲の確認および関係先への対応を進めた上で、行っております。

### 2. 影響範囲について

閲覧およびアクセスが可能になっていた個人情報ならびにアクセスログ上で社外から本件システムへのアクセスがあった可能性が否定できない個人情報は、それぞれ下記の通りです。

なお、閲覧およびアクセス可能になっていた個人情報ならびに社外から本件システムへのアクセスが否定できない個人情報には、いずれもクレジットカード番号等の財産的被害につながる情報や、信条や病歴等の要配慮個人情報は含まれていないことを確認しております。

また、事態発覚後、直ちに該当ページの非公開化対応を行い、外部からの閲覧およびアクセスはできない状態にしております。

(1) 閲覧およびアクセス可能になっていた個人情報

2,766名分の個人情報（氏名、電話番号、メールアドレス、住所、事業者名が含まれていた）

(2) 社外から本件システムへのアクセスが否定できない個人情報

55名分の個人情報（氏名、住所が含まれていた）

### 3. 原因について

全ページにユーザー認証機能を実装していたものの、システム構成に沿った設定変更の一部に漏れがあったことから、特定ページのみユーザー認証を経ずにアクセス可能な状態となっていたことが原因となります。

その結果、本来であればユーザー認証を通過しない限り閲覧できない情報が、外部から閲覧できる状態となっていました。

### 4. 被情報漏洩者への対応について

本件の対象であることが確認できたお客様には、当社にご提供いただいたメールアドレス等にて、個別にご連絡を差し上げております。なお、連絡先不明などの理由により、個別のご連絡が困難なお客様については、本公表をもって当社からのご連絡に代えさせていただきます。

### 5. 再発防止策について

今回の事態を重く受け止め、「システム要件見直しによる防衛線の複層化」や「レビュー品質・テスト品質の向上」といった再発防止策を策定し、再度社内に徹底し、情報セキュリティ体制の強化に努めてまいります。

### 6. お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

- 株式会社クラッソーネ 個人情報窓口
- E-mail : [privacy-support@crassone.jp](mailto:privacy-support@crassone.jp)
- 営業時間：平日 9:00-18:00

以上